

研究実施のお知らせ

研究課題名：維持透析患者の出血源不明なくも膜下出血症例の転帰とその関連因子解明のための後方視的観察研究

研究期間：仙台市立病院倫理委員会承認後～令和4年12月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2003年1月～2022年12月に当院で治療を受けた、出血源を特定できなかつても膜下出血の方（維持透析の方を含みます）

【研究の目的と意義】

透析患者さんは一般の方と比べると血管が脆いため脳卒中の危険が高いとされています。中でもくも膜下出血は、多くは脳動脈瘤破裂によって生じますが、様々な検査を行っても出血源を特定できない場合があります。当院ではこれまで仙台市内で急性期脳卒中を発症した維持透析患者さんを優先して受け入れてきました。そのため、維持透析患者さんの脳卒中の実態を把握するに当たっては、当院の透析患者さんと非透析患者さんの診療データを比較して解析することが有用と考えられます。この研究では、出血源を特定できなかつても膜下出血患者さんのうち、透析患者さんと非透析患者さんに分けて比較することで、背景となるリスク評価や経過の特徴を知ることを目的としています。

【研究の方法】

単一施設の後ろ向き観察研究です。過去に記載された診療録から必要な項目を抽出し、その背景要因を解析します。患者さまのご自宅を訪問したり質問票を送付したりといった介入はいたしません。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報のみを、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

診療情報とは年齢、性別、既往歴、内服歴、入院日、治療、死亡日時、画像データ、採血データなどを指します。

【研究の実施体制】

この研究は、仙台市立病院のみで実施される後方視的観察研究として実施されます。

研究代表者：仙台市立病院 脳神経外科 成澤あゆみ

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場

合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 脳神経外科

科部長 刈部 博（当院の研究責任者）

または 医長 成澤 あゆみ

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）